

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

～ 第19報 ～

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当  
平成14年8月5日

## 1. 最も数が多かった種類（優占種）

植物プランクトン第1優占種



*Cryptomonas* sp.  
(クリプトモナス)  
褐色鞭毛藻綱

体は長楕円であり、頂端は少しへこんでいる。  
等長の2本の鞭毛を持つ。

動物プランクトン第1優占種



*Bosmina longirostris*  
(ゾウミジンコ)  
甲殻類

体は丸みを帯び、吻端の第1触角が長い  
ためゾウミジンコと呼ばれている。

### コメント

植物プランクトンは、褐色鞭毛藻に属するクリプトモナスが最も多かったが、総細胞数は引き続き少なかった。藍藻類は横ばいかやや減少傾向であった。動物プランクトンは、先週はケンミジンコの幼生が多かったが、今週はゾウミジンコが優占種となった。

## 2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

### (1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
甲 殻 類	<i>Bosmina longirostris</i>	80

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
甲 殻 類	<i>Nauplius</i>	20

\* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

## (2) 植物プランクトン

平成14年8月5日

第19報

(網) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Microcystis incerta</i> *	3		
(藍) <i>Chroococcus</i> sp.*	10		
(珪) <i>Synedra</i> sp.	70		
(珪) <i>Cocconeis placentula</i> var. <i>leneata</i>	10		
(珪) <i>Cymbella ventricosa</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	140		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	60		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	20		
(藍) 藍藻綱	13	4.0	3.2
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	90	27.9	50.5
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	200	61.9	44.0
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	20	6.2	2.3
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	323	総体積	5.64E+05
種類数	8	( $\mu\text{m}^3$ )	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)  
ただし\*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。